

8月17日・18日開催の学校説明会でのQ & A

項目	質問内容	回答
1	募集 【在学への申告】 申し込む際に、在学している学校にも何か申請が必要ですか。	応募するにあたり、現在通学している学校への事前の申請は必要ありません。義務教育学校への就学が決定した段階で、在学する学校へは、教育委員会から事務連絡として通知をします。
2	募集 【今後の募集予定】 来年度も募集はあるのですか。	来年度も募集する予定です。募集は年1回です。児童生徒数を見ながら、毎年募集する予定です。
3	募集 【兄弟姉妹枠】 兄弟姉妹での就学を希望していますが、1人しか許可されないこともありますか。	現在のところ兄弟姉妹関係を考慮し許可するということは考えておりませんが、就学説明会までには明確にしてお知らせします。
4	募集 【学年規模】 各学年どれくらいの規模を考えていますか。	1学年70名程度、2クラス規模を想定しています。
5	募集 【抽選】 募集人数を超える応募があった場合はどうなりますか。	応募人数が募集人数を超えた場合は、抽選を行います。
6	募集 【選考基準】 募集人数を超える応募があった場合の選考の基準はありますか。	選考のための検査等はいりません。募集人数を超える場合は、一律抽選となります。
7	募集 【就学時健康診断】 本来就学する予定であった学校の就学時健康診断を受ける必要はありますか。	本来就学する予定であった学校で就学時健康診断を受けてください。
8	募集 【新7年生の募集】 新7年生の募集はありますか。	9月に学校で転出や進学状況を調査する予定で、その結果を踏まえて最終的に判断することになります。10月末の就学説明会までには、市政ニュースやホームページにより、確定した情報をお知らせします。
9	募集 【西宮浜の雰囲気】 西宮浜は落ち着いてると聞いていますが、校区外の児童生徒の受け入れにより、学校や地域の感じが変わってしまいませんか。	地域の方を交えた設置準備委員会では、校区外から児童生徒が通学してくれることで、学校の活性化を期待する声も多く聴かれました。
10	教育課程 【通知表・評価】 通知表や評価の仕方はどうなりますか。	現在検討中ですが、通知表は今の小学校の様式を前期過程、中学校の様式を後期課程で使うことを考えています。評価の仕方は国や県の通知に基づいて行うので他の公立小中学校と同じになります。
11	教育課程 【授業時数】 5、6年生は50分授業になりますか。	チャイムは50分となりますが、前期課程の授業時間は45分を原則とし、残りの5分は準備や振り返りとして弾力的に考えています。
12	教育課程 【授業時数】 授業時数は他の小中学校と変わらないのですか。	他の小中学校と同様に、学習指導要領に基づいて実施するので変わりません。

13	教育課程	【始業時刻・下校時刻】 始業時刻や下校時刻に変更はありますか。	現在学校で検討中で、バス通学等を考慮し、決定される見込みです。下校時刻については、できるかぎり今より遅くならないよう調整したいとのことです。
14	教育課程	【行事】 行事（6年生の修学旅行等）はどのようになりますか。	現在行っている行事については、原則継続する方向で考えています。ただし、行事の趣旨や位置づけを見直すこともあり、今後名称が変わることもあります。
15	教育課程	【卒業式】 6年生の卒業式はどうなりますか。	卒業式は9年生だけになります。ただし、前期課程が修了する6年生においては「修了式」など、子供にとって節目となる行事の実施を検討中です。
16	教育課程	【国の研究指定】 国から研究指定を受けているようですが、来年度以降も指定を受けていくのですか。	指定は本年度と来年度の2年間です。小中の連続した段階的なプロセスを研究し、その成果を市内の学校に還元していきます。
17	教育課程	【担任】 現小学校所属の教員が今後7年生の担任をすることもありますか。	小中両方の免許を持った教員が7年生の担任をする状況も考えられます。
18	教育課程	【制服】 5年生から東校舎で生活することになりますが、制服の着用が7年生となっている狙いは何ですか。	制服の着用については、学校が保護者と協議し決定する内容となります。義務教育学校への移行にあたり、児童生徒に必要な以上の変化を与えぬように配慮されたものです。
19	教育課程	【外国語活動】 外国語活動・外国語科の授業時数は、文部科学省が示している授業時数と同じですか。	同じです。外国語活動の特色としては、外部人材を活用することや、5、6年生において中学校の英語科の免許を持った教員も学級担任と共に指導にあたることのできる場所です。
20	教育内容	【プログラミング教育】 プログラミング教育をどのように進める予定ですか。	理科や算数などで、学習指導要領に沿って既に研究を始めている小中合同のカリキュラムに沿って、各学年で取り組んでいきます。
21	教育内容	【宿題】 インターネット環境が必要となるような宿題が出ることはありますか。	そのような家庭での負担は考えていません。
22	設置	【設置の経緯】 西宮浜で小中一貫校を設置することになった理由は何ですか。他地域でもよかったのではありませんか。	本市ではこれまで、小規模、または過大規模の状態が続くことで子供にとっての教育環境の改善が見込めない場合、学校の良い教育環境の維持を最優先に考え、校区変更や統廃合、学校の新設や増改築などの取り組みを行ってきました。こうした考え方のもと、西宮浜地域においても同様に検討をまいりました。その結果、市としては、西宮浜の学校は立地的に統廃合が難しいと判断し、地域の拠点として存続させる方向で検討を行い、小中一貫校である義務教育学校の設置に至りました。

23	設置	【県内の義務教育学校】 市政ニュースでは、県内4校目とありますが、他にどんなところがありますか。	平成28年に神戸の港島学園、平成30年に姫路の白鷺小中学校、平成31年に四郷学院の3校が県内では開校しています。
24	設置	【今後の展開】 今後市内でも、小中一貫校は設置されていくのですか。	未定です。
25	組織	【在勤期間】 私立であれば同じ職員集団に長期間、継続的に見てもらえますが、教職員の転勤はどうなりますか。	原則、他の公立小中学校と同じです。ただし、小中両方の免許を持った教職員の割合が他の公立小中学校と比べると多くなる予定です。
26	組織	【オープニングスタッフ】 今所属している教職員で開校を迎えますか、それとも新しい教職員が来ますか。	基本は今のままですが、3月に人事異動はあります。
27	特別支援	【就学】 特別支援学級に通う児童生徒が就学を希望した場合、受け入れはありますか。	特別支援学級においては、障害種別に応じてクラスが設置されています。在籍児童生徒人数に応じて判断いたします。
28	クラブ活動	【4、5、6年生のクラブ活動】 4年生から6年生までのクラブ活動はどうなりますか。	次年度の教育課程は学校で検討中ですが、4年生から6年生の従来のクラブ活動は、そのままの予定となっています。
29	部活動	【5・6年生の部活動】 5年生と6年生の部活動体験はどのようなものになりますか。7、8、9年生と同じように18時まで活動するのですか。	あくまでも入部ではなく参加となるため、練習には参加できますが、公式戦やコンクールに出場できません。また、5、6年生の経験や体力等を配慮して、活動を行う必要があると考えています。
30	部活動	【絶対加入】 7年生の部活動への加入は絶対ですか。	絶対ではありません。あくまで任意です。
31	通学	【荷物】 小学校低学年にとって多くの荷物をもってバスで通学することは容易ではありません。何らかの配慮はありますか。	現在もすべての道具類を必ず持って帰るようにはしていません。基本的に持ち帰る必要のないものは学校に置いておき、学期末には持って帰ることになります。
32	通学	【集団登校】 1人でバス通学させることが不安なので、集団で登校することはできませんか。	市内の様々な場所から通学していただくことを考えると、集団での登校は難しいと考えます。
33	通学	【自家用車での送迎】 自家用車で送迎することはできませんか。	原則は公共交通機関でということですが、個別に相談には応じたいと考えています。
34	通学	【スクールバス】 スクールバスは出ないのですか。	スクールバスは想定していません。
35	通学	【校区】 現在の西宮浜小学校と西宮浜中学校の児童生徒は、そのまま義務教育学校に移行することになりますか。	西宮浜の校区はそのままです。
36	通学	【通学補助】 バスでの通学において補助はありませんか。	補助の対象とすることは難しいと考えます。

37	通学	【携帯電話の所持】 電車、バスでの通学となるので、緊急連絡用に携帯電話を持たせたいのですが。	ご相談させていただき、個別対応となります。
38	防災	【防災体制】 地震や津波に対する防災体制はどうなっていますか。	近隣の高層集合住宅と提携を結び、垂直避難の訓練を重ねています。また小中合同の訓練も検討しています。ちなみに西宮市のハザードマップによると、学校は津波による浸水のリスクが少ない土地に建てられています。
39	防災	【災害時の引き取り】 災害時の引き取りが心配なのですが。	児童生徒を確実に保護者に引き渡すまでは、学校が責任を持って児童生徒の安全を確保します。また、交通が遮断された際でも、学校は避難所としての機能を有するため、数日間程度の安全は確保できます。
40	育成 学童	【育成センター】 留守家庭児童育成センター（学童保育）はどうなりますか。	校区外から通学する児童（1年生～4年生）は西宮浜留守家庭児童育成センターを利用することができます。令和元年度現在、定員に余裕がある状況です。
41	付属校化	【総合教育センターの付属校化】 総合教育センターの付属校化について詳しく教えてください。	西宮浜の両校が開校以来取り組んできた連携教育と一貫教育に加え、来年度から本格実施されるプログラミング学習や外国語教育についても、先駆的な取り組みを行うとともに、地域と連携した特色ある行事を展開します。あわせて総合教育センターの付属校とすることで、義務教育学校の教員への支援や助言を行い、西宮浜における先駆的な取り組みの成果を研究発表会やオープンスクール場で公開するほか、総合教育センターを通じ、他の小中学校へ還元してまいります。